

2019年度 事業報告書

2019年6月1日から2020年5月31日まで

特定非営利活動法人語りつぐ青函連絡船の会

1 事業の成果

研究公開事業は、引き続き資料の収集につとめた。保存展示事業（摩周丸事業）は、2月に函館市が摩周丸をドック入りさせ船体外板塗装工事を行うことにしたため、これにあわせ、老朽化した船体各部の修繕を行った。教育啓発事業は、摩周丸横にクルーズ船棧橋が供用開始されたので、これを記念して、8月1日に「摩周丸とクルーズ船」をテーマにシンポジウムを開催し、摩周丸の係留「船」としての活用法を報告・検討した。そのほか、8月12日に1991年4月に展示船（メモリアルシップ摩周丸）として開業以来の通算入館者数200万人を達成したので、簡単なセレモニーを行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
鉄道連絡船に関する資料、産業遺産の収集、調査、研究、公開事業	研究公開事業	青函連絡船を中心に船と鉄道に関する資料を収蔵公開する私設図書館（いるか文庫）の運営及び青函連絡船に関する図書の編集出版。	随時。いるか文庫は通年（水・木曜日定休。※4/18-5/31休館）	函館駅2階いるか文庫ほか	4人	道南住民及び旅行者約20,000人	362,647
鉄道連絡船に関する資料、産業遺産の保存、管理、展示事業	保存展示事業	旧青函連絡船を活用した博物館船（函館市青函連絡船記念館摩周丸）の管理運営。	通年（※2/3-3/19, 4/18-5/25休館）	函館市青函連絡船記念館摩周丸	9人	道南住民及び旅行者約60,000人	32,430,416
	摩周丸特別修繕事業	函館市が摩周丸の船体外板塗装工事を実施するのにあわせ、老朽化した船体各部の修繕を実施。	2月～5月	函館市青函連絡船記念館摩周丸	9人	道南住民及び旅行者約60,000人	9,623,823
鉄道連絡船の歴史と文化に関する教育、啓発、情報提供事業	教育啓発事業	青函連絡船の歴史、技術、文化の学習理解、摩周丸の広報宣伝を目的とした企画展、セミナー、イベント等の実施及び物品の製作頒布。	随時	函館市青函連絡船記念館摩周丸ほか	9人	日本全国約60,000人	6,868,341
						支出合計	49,285,227

※船体外板塗装工事、新型コロナウイルス感染拡大防止のため

(2) その他の事業

定款の事業名	事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	支出額	
前項（特定非営利活動に係る事業）に関連するものを除く図書、物品等の販売事業	物品販売事業	鉄道連絡船に関連しない図書、物品等の販売。	通年	函館駅2階いるか文庫／函館市青函連絡船記念館摩周丸	5人	823,046	
飲食店及び喫茶事業	喫茶事業	飲食物の提供。	通年（※2/3-3/19, 4/18-5/31休業）	函館市青函連絡船記念館摩周丸	2人	374,036	
会員相互の交流を図る事業	会員交流事業	懇親会、見学会、旅行会等の実施。	本年度は実施しなかった			0	
						支出合計	1,197,082

※船体外板塗装工事、新型コロナウイルス感染拡大防止のため